



推進本部だより

カトリック広島司教区平和の使徒推進本部

2015年度広島教区年間テーマ

チャレンジ 新しい福音宣教 わたしを
お使いください
— 家庭へのチャレンジ —

広島を中心

被爆・戦後70年「2015 平和行事」を無事終えることができました。

その今、心に訴えることばがあります。

原爆供養塔にただ一人通い、遺骨をねぎらい、遺骨を遺族に返すべく奔走した「ヒロシマの大母（おおかあ）さん」佐伯敏子さんのことばです。



「今じゃ、みんな広島を中心は原爆慰霊碑じゃと思

うとる。そりゃあ無いよりはましじゃけど、本当は遺骨がある場所が広島を中心よね。みんなあそこを平和公園というけれど、本当は平和な場所なんかじゃないんよ。静かでのどかな場所に見えるけど、供養塔の地下室は、あの日のまんま。安らかに眠れというけれど、安らかになんか眠りようがないんよ。

生きている人はね、戦後何年、何年と刻んで、勝手に言うけどね、死者の時間はそのまんま。あの日から何にも変わってはおらんのよ。年を数えるのは生きとる者の勝手。生きとる者はみんな戦後何十年と言いながら、死者のことを過去のものにしてしまう。死者は声を出せんから、叫び声が聞こえんから、みんな気付かんだけ。広島に歳はないんよ。歳なんかとりたくてもとれんのよ。」

重たいことばです。生きとる者は、被爆・戦後70年と言いながら・・・

佐伯さんは、「平和公園」ということばを使ったがらなかったそうです。

むしろ「地獄公園」と言っていたそうです。あそこには五つの町があって、沢山の遺骨がまだ下に眠っていると。

「ここはソオッと歩かんといけんよ。まだ大勢の人が眠っておられる場所なんじゃから」

供養塔の地下室に眠る人の数、およそ七万人——。

今夏上梓された、堀川恵子著「原爆供養塔 忘れられた遺骨の70年」（文藝春秋）によってこの文を書きました。是非、一読をお薦めいたします。

著者が語るように、原爆そして戦争というとても大きく大きな出来事を「歴史の年表の一部」にしてしまわないために。

家庭へのチャレンジ ローマ教皇一般謁見テーマ

ローマ教皇は毎週水曜日に一般謁見をおこなっています。その中の連続講話は「家庭」をテーマにしています。

邦訳はカトリック中央協議会のホームページに掲載されています。一度、目を通してみてはいかがでしょう？

なお、邦訳・映像とも平和の使徒推進本部ホームページ内のローマ教皇フランシスコのページからリンクしていますのでご利用ください。



一般謁見テーマ一覧

12月17日	ナザレの聖家族
01月07日	母親について
01月28日	父親について①
02月04日	父親について②
02月11日	息子、娘について
02月18日	兄弟姉妹について
03月04日	高齢者について
03月11日	祖父母について
03月18日	子どもについて①
03月25日	家庭に関する世界代表 司教会議（シノドス） のための祈り
04月08日	子どもについて②
04月15日	男性と女性①
04月22日	男性と女性②
04月29日	結婚
05月06日	結婚②
05月13日	三つのことば
05月20日	教育
05月27日	婚約
06月03日	家庭と貧困
06月10日	家庭と病
06月17日	死
06月24日	傷ついた家族①
08月05日	傷ついた家族②
08月12日	祝日・休日
08月19日	働くこと

主な教会暦（主日を除く）

09月08日	聖マリアの誕生（祝日）
09月10日	日本205福者殉教者
09月14日	十字架称賛（祝日）
09月21日	聖マタイ使徒福音記者（祝日）
09月28日	聖トマス西と15殉教者
09月29日	聖ミカエル 聖ガブリエル 聖ラファエル大天使



（ホームページ）